



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第46号 NO. 046

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2019年9月28日

神奈川県立みどり養護学校「みどり防災デー」参加報告



【概要】

本校は神奈川県横浜市緑区にある特別支援学校です。小学部・中学部・高等部・分教室があり知的障がいのある児童・生徒が学んでいます。

本校は防災教育の意識が非常に高く、6年前に「学校防災アドバイザー」として、横浜支部とのご縁で6年連続の「防災交流フェスタ」のお手伝いをさせていただいております。今年は「みどり防災デー」として学校の授業の一環として実施されました。

日時: 2019年(令和元年)9月28日(土) 9:30~11:40

場所: 神奈川県立みどり養護学校
神奈川県横浜市緑区東本郷 5-18-1
担当部署: 安全対策チーム

協力: 日本防災士会横浜支部: 長沼副支部長、玉江副支部長

【目的】 学校の防災力を高める

- ア) 児童生徒の「自分の身は自分で守る」防災意識を高める。
 - イ) 児童生徒の保護・引渡しの体制を確認、職員の防災を高める。
 - ウ) 地域・関係団体との連携・協力を継続・強化する。
- 防災拠点、防災士会横浜支部、消防署、ケアプラザ、緑区

【内容】

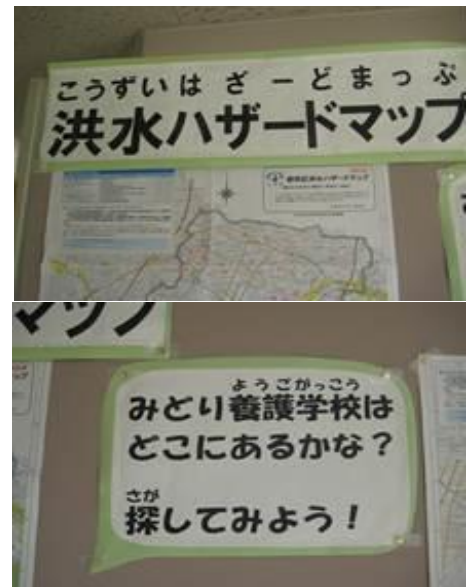
ア) 防災学習(児童生徒)

全児童生徒向けシェイクアウト訓練をした後、グループ別に廊下、体育館などで防災学習を行ないました。その廊下の一箇所に日本防災士会コーナーを設けて、ボードを4枚用意し、4枚のボードに避難所の写真パネルの模造紙を7枚張り付けて展示しています。

グループが廊下を通り掛かったところを立ちどまってもらい、10分間を目途に丁寧に説明しました。1グループが終わると次のグループがそのコーナーに来て同じ様な説明をしました。

授業の一環として「防災学習」の外部先生の役を防災士が担いました。

イ) 高等部保護引渡し訓練・・・見えない場所で実施。



文責 長沼重雄